



学校だより

6月号

泉区緑園五丁目28番

前期課程(811)6710

後期課程(811)6030

「自分の命は自分で守る」

准校長 菅原 和子

今年度准校長として着任しました菅原 和子と申します。昨年度まで緑園西小学校で副校長として勤めておりました。横浜市三つ目となる9年制を生かした義務教育学校緑園学園に着任できたことを大変うれしく感じています。開校してから2か月がたちました。校庭や教室からは児童生徒達の元気な声が響き渡り、学校も活気づいてまいりました。児童生徒が安心して学校生活をスタートすることができたのも地域の皆様、保護者の皆様の温かいご支援・ご協力があったのものと教職員一同感謝しております。本当にありがとうございました。

さて、5月11日(水)に9年生は京都奈良へ2泊3日の修学旅行へ、8年生は1泊2日で自然教室へ行きました。コロナ禍の中、今年も実施できるのかどうか心配しましたが、実施することができました。生徒たちは、普段体験できないことを通し、集団生活をするにより「自立する力・生活力」を養い良い思い出作りができたことと思います。また、7年生は、あいにくのお天気となってしまいましたが、13日(金)に相模湖プレジャーフォレスに遠足へ行きました。オリエンテーリングを通しクラス、学年と親睦を深め楽しい遠足になったことと思います。

前期課程では、11日(水)に開校して初めて1年生から6年生までの避難訓練を実施しました。子どもたちには、おさない、かけない、しゃべらない、もどらないという「おかしも」という言葉で避難の心構えを指導しています。これは、落ち着いて、安全にそして周囲からの指示をよく聞いて非難するという意味です。災害は、いつ起きるかわかりません。授業中、教室で担任の指示が届く場にいるときだけでなく、休み時間グラウンドで遊んでいるときや登下校中かもしれません。常に最悪の場合を想定し学校では「自分の命は自分で守ることのできる児童生徒」を育てたいと思っています。教師の指示が届かなくても自分の力で周囲の状況を確認し、どこへ避難したら安全か判断する。また、高学年の児童、後期課程の生徒は、低学年の児童がそばにいたら一緒に声をかけ避難する。そのような心構えを加えた指導も行っています。今回は前期課程のみの避難訓練を行いました。前後期全校での避難訓練もこれから取り組んでいきます。

先日おこなわれた、「学校説明会」「授業参観・懇談会」への参加とご協力ありがとうございました。引き続き、学校と家庭、地域と協働して児童生徒を育てていきたいと考えています。今後とも緑園学園の教育活動へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

